富山市立図書館　こども版　としょかんだより　2022年12月号　No.448

# わくわく本だな

## 12月号

1 2 3 年

ホームページもみてね！

えほん

E『 びんにいれてごらん 』

デボラ・マルセロ／作　なかがわちひろ／訳　光村教育図書

ルウェリンは、いろんなものをあつめることがだいすき。友だちのエブリンといっしょに、雨あがりのにじや、広いうみのなみの音をあつめて、びんの中に入れていました。そんなある日、エブリンがとおい町にひっこしてしまいます。

ものがたり

K913『 やまだめいたちのえにっき 』

山田美津子／さく　理論社

えにっきのしゅくだいがでましたが、めいは、なにも書くことがありません。せっかくの休みなのに、どこにもでかけないので、たいくつでねむってしまいます。しばらくして、ひるねからおきると、えにっきが書かれていました。いったい、だれが書いたのでしょう？

ものがたり

K913『 わたし、いえた！ 』

深山さくら／作　北沢優子／絵　岩崎書店

こはるは金魚のしいくがかりです。今日は、おなじかかりのまなちゃんが休みで、かずきくんもようじがあるそうです。こはるは一人で水そうのそうじをはじめますが、とてもたいへんで、とちゅうでかえることにしました。すると次の日、金魚のぐあいがわるくなってしまいます。

ちしきのほん

E『 ひかるめのなぞ 』

ささきふみひこ／著　みらいパブリッシング

ほとんどのほにゅうるいは、くらいところで目が光るようにできています。きょうりゅうが生きていたころ、昼間はものかげにかくれてくらし、夜に食べものをさがしていたからです。

今、人間の目が光らないのはどうしてなのでしょうか。

としょかんのまどぐちには、くみたてると本になる「わくわく本だな」もあるよ。

ホームページもみてね！〈編集・発行〉　富山市立図書館　富山市西町５番１号　電話　076-461-3200

富山市立図書館　こども版　としょかんだより　2022年12月号　No.448

# わくわく本だな

## 12月号

4 5 6 年

ホームページもみてね！

物語

K913『 やまの動物病院 』

なかがわちひろ／作・絵　徳間書店

とらまるは、〈まちの動物病院〉で人間のまちの先生に飼われているねこです。夜、まちの先生がねむると、とらまるはねこ用のとびらの横にあるかんばんをひっくり返し、〈やまの動物病院〉として仕事をはじめます。

しばらくすると、かぜをひいたキツネや、手をけがしたモグラが、とらまるのしんさつを受けるため次々にやってきました。

物語

K913『 黒紙の魔術師と白銀の龍 』

鳥美山貴子／著　講談社

悠馬は、神社で黒い紙で作られたとかげをひろいました。そのとかげが夜になると本物のように動き出し、悠馬はこわくなります。悠馬はクラスメイトが通うおりがみ教室をたずね、先生にとかげをあずけることにしました。

その数日後、おりがみ教室の前に警察が集まっていました。とかげをあずけた先生が、行方不明になったのです。

ちしきの本

K667『 宇宙食になったサバ缶 』

小坂康之／著　別司芳子／著

早川世詩男／装画・挿絵　小学館

２０２０年、野口宇宙飛行士が宇宙ステーションから、宇宙食のサバ缶をしょうかいしました。このサバ缶は、福井県にある若狭高等学校の生徒たちが作ったのです。若狭高等学校には、「サバ缶実習」という伝統的な授業があります。この授業で作ったサバ缶を宇宙食として認めてもらうためには、安全基準など乗りこえなければいけない課題がたくさんありました。

図書館のまどぐちには、くみたてると本になる「わくわく本だな」もあるよ。

ホームページもみてね！〈編集・発行〉　富山市立図書館　富山市西町５番１号　電話　076-461-3200